

区分	評価項目	榛原小学校	榛原東小学校	榛原西小学校
所在地	住所	宇陀市榛原萩原2145番地	宇陀市榛原赤瀬190番地	宇陀市榛原下井足1061番地
建設年度		昭和47年(1972年)	昭和53年(1978年)	昭和51年(1976年)
築年数		53年	47年	49年
構造		RC造	RC造	RC造
延床面積(m <sup>2</sup> )		6,168m <sup>2</sup>	6,791m <sup>2</sup>	3,325m <sup>2</sup>
耐震補強		改修済み	改修済み	改修済み
現況	敷地面積	32,259m <sup>2</sup>	31,622m <sup>2</sup>	18,847m <sup>2</sup>
	敷地形状・高低差	整形(北西南東方向に長方形):高低差あり	整形(北西南東方向に長方形):高低差なし	整形(東西方向に長方形):高低差なし
人口分布	人口集中の状況(0~14歳人口分布図)	人口分布図のとおり	人口分布図のとおり	人口分布図のとおり
通学環境	候補地から校区内の行政界までの最長直線距離	榛原小~内牧 約9.1km	榛原東小~内牧 約9.1km	榛原西小~内牧 約9.0km
	通学路が変わる児童数	267人(榛原東小189人、榛原西小78人)	324人(榛原小246人、榛原西小78人)	435人(榛原小246人、榛原東小189人)
	通学の安全性(国道〇〇号を渡る児童数)	国道165号を渡る児童数14人、国道370号を渡る児童数19人	国道165号を渡る児童数3人、国道369号を渡る児童数50人	国道370号を渡る児童数9人
周辺環境	安全性(周辺道路の交通量)	交通量少なく周辺にスクールゾーン設置口 住宅地内歩道無し	交通量少なく通学路歩道有り口 住宅地内見通し悪い	通りに面しており、朝夕交通量多い
	学校が周辺に与える影響(音など)	住宅地のため多少の影響あり	周辺に民家が少なく影響は少ない	周辺に民家が少なく影響は少ない
	周辺のみどり(田・畑)等の環境	周辺のみどりは少ない	農地などみどりがある	農地などみどりがある
	周辺施設(医療機関の有無)	徒歩圏内に学校医等の各種医療機関有り	近隣に学校医有り、タクシー送迎必要	近隣に学校医有り、タクシー送迎必要
	周辺施設(警察署、消防署の有無)	交番(榛原駅前)1.0km 消防署1.3km	駐在所(天満台)1.0km 消防署1.4km	交番(榛原駅前)2.2km 消防署3.3km
事業の迅速性	建築及び開発申請等許認可手続き	既存校舎を利用し内部改修のみであれば許認可不要	既存校舎を利用し大規模改修のみであれば許認可不要	市街化調整区域既存宅地の増築
	事業全体スケジュール長期化	既存校舎を利用し内部改修のみであれば工事は単年度で可能	大規模改修工事が必要になるため、事業の長期化が見込まれる	増築が必要であるため事業の長期化が見込まれる
	事業費用大小	(一部既存校舎の活用が可能で費用が抑えられる)	大規模改修工事が必要であり事業費が膨大になる	大規模改修工事が必要であり事業費が膨大になる
施工性	児童・工事動線区分	2方向に出入り可能で学校関係者と工事車両の動線の分離が可能	2方向に出入り可能で学校関係者と工事車両の動線の分離が可能	1方向の出入りしか出来ず、動線の交差に配慮が必要
	工事車両ルートの確保	面している道路が狭く住宅街の中を通るため配慮が必要	比較的面している道路は広い	片側1車線ずつの広い道路に面している
	仮設校舎必要性	校舎配置計画により不要とすることも可	校舎配置計画により不要とすることも可	仮設校舎を用意する必要がある
防災	避難所	指定避難所	指定避難所	指定避難所
	洪水ハザード	現地(浸水想定区域外)	現地(浸水想定50cm未満)	現地(浸水想定区域外)
	土砂災害ハザード	現地(土石流警戒区域)	現地(区域外)	現地(区域外)
	地震ハザード	想定地震を重ね合わせた最大震度6強	想定地震を重ね合わせた最大震度6強	想定地震を重ね合わせた最大震度6強